

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月27日記入

基本目標	ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	21210
政策名(章)	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります	評価担当部	環境事業部
基本施策名(節名)	第2節 リサイクル型社会の構築	評価担当課	ごみ減量推進課
施策名	リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進	課長名	江成博

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

市民・事業者・行政が一体となり、ごみの減量化・資源化の推進に取り組むなど「資源循環型都市 さがみはら」の実現を目指しています。  
18の個別事業に取り組み、多様な方法で施策の実現に努めている。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		1,094,621	
人件費		191,751	
市民一人あたりの事業費	2,329	1,929	
合計	1,434,658	1,286,372	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

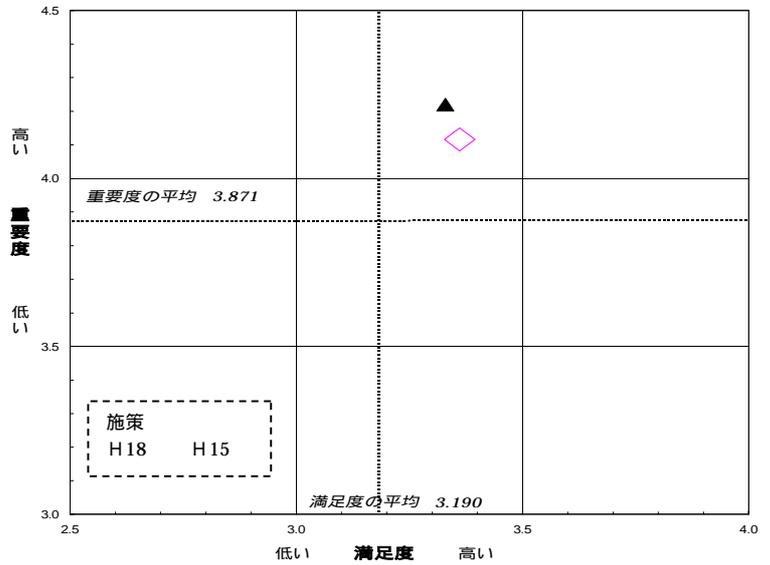
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	1人1日ごみ排出量	ごみ排出量/人口(次年度4月1日)/年間日数 *1,000,000 217,003/606,897/365*1,000,000	980グラム	H12
指標2	減量・資源化率等	資源回収量/(資源回収量+ごみ排出量(生活系)) 43,746トン/(43,746トン+157,662トン)	21.7%	H12
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	970	19	966グラム	21	962グラム	新一般廃棄物処理基本計画における目標年次22年の目標値。960グラム
達成率	103.6%					
指標2	24.9	19	26.1%	21	27.4%	新一般廃棄物処理基本計画における目標年次22年の目標値。28%
達成率	89.2%					
指標3						
達成率	#DIV/0!					
指標4						
達成率	#DIV/0!					
指標5						
達成率	#DIV/0!					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.361で51施策の中で6番目。  
 重要度は4.116で14番目である。  
 改善要望度は0.0527で21番目である。  
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、30、40歳代で低くなっている。  
 重要度は年代の差はあまりみられない。  
 前回調査と比較すると、満足度は施策の順位に大きな違いはなく、重要度は下がっている。  
 満足度の順位では、20歳代で前回調査より大幅に上がっている。  
 重要度の順位では、50歳代で前回調査より大幅に下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4	平成17年10月から資源分別回収品目としてステーション回収を全市で実施した使用済み食用油については、追加品目の回収量のみならず、既存品目の分別の意識を高めるなどの効果が得られた。また、一般廃棄物において重量比で2割、容積比で6割を占める容器包装廃棄物の全市でのステーション回収実施に先立ち、諸条件の検証を行うため大沢地区で実施した分別回収の実証実験をうけ、平成18年度は全市での本格実施に移行する。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	2	循環型社会形成推進基本法に掲げられる「3R」の第一優先順位であるリデュース(廃棄物の発生抑制)を推進するためには、包装廃棄物の削減、事業者によるリサイクルシステムの確立が重要であり、デポジット制度、リターンブル容器の普及促進及び分別しやすい商品づくりなど、拡大生産者責任の徹底が望まれる。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4	近年、地球規模での環境問題や資源の枯渇問題などが社会問題として注目され、さらに、循環型社会形成推進基本法をはじめ環境負荷の少ない循環型社会の構築を目指した法令の整備が次々と進められています。こうした状況を背景に、市民満足度調査結果からも施策に対する重要度、満足度ともに高い評価がされ、市民・事業者・行政が相互に協力・連携し事業展開を図る。	
合計		10	評価結果に基づく区分(3項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 A

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	新たな資源分別回収品目の追加 既存の資源分別回収品目の回収量の増加
解決策	新たな資源分別回収処理体制(品目の追加)の確立、実施(平成18年10月北部地域、12月南部地域実施) 市民の主体的取り組みを促進するための情報提供、啓発の充実(平成18年から市ホームページ、広報紙、地域説明会及び街頭キャンペーン等で実施)

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

整理された解決策により、より一層の課題の解決に努めることが望まれる。	2次評価 A
------------------------------------	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



